

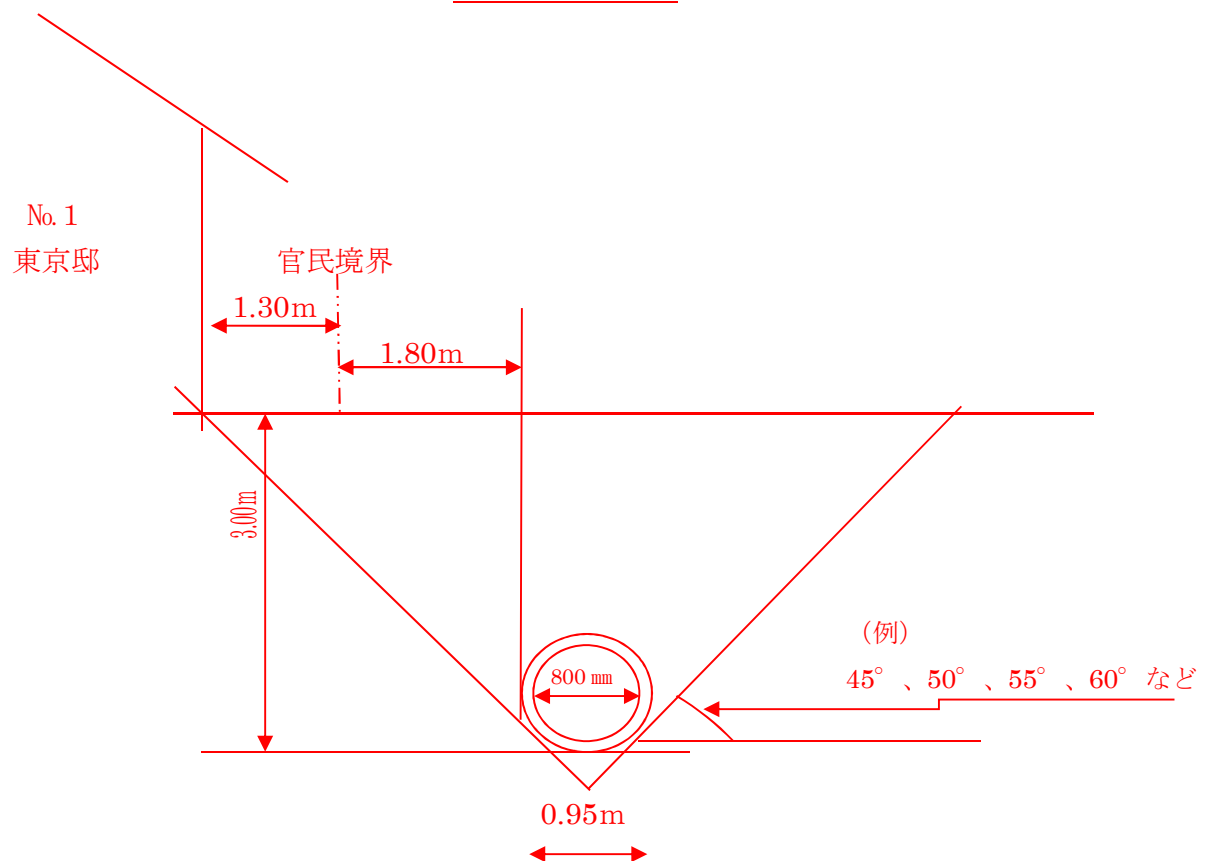
(例 2 (推進工法・シールド工法))

施 工 説 明 書

管渠（内径 800mm）埋設の工法は、下図に示すとおり推進工法（シールド工法）によるものである。

新宿区西新宿一、二丁目付近再構築工事

掘削断面図



(A 4 タテ)

- (注) 1 工事と調査物件との位置を明示する。
- 2 調査対象物件の図に、事後調査一覧表の整理番号及び物件所有者名を記載する。
- 3 外構（門・柵・塀）がある場合は、その位置も記載する。
- 4 調査対象物件の配置に沿った図にすること。（同じ図を使用し、数値等だけを変更しないこと）
- 埋設深さ、シールド機外径、官民境界までの距離は縮尺を整合させる。
- 5 シールド工事または推進工事の場合は、掘進機外径が対象物件に最も近い位置から官民境界までの距離を記載する。
- 6 掘削断面図には、掘進機位置から影響線を表示し、その影響角度を記入する。
（例：45°、50°、55°、60° など）